



センターホームページでは各種 情報をお届けしています

<http://celees.naruto-u.ac.jp/>

講師派遣
様々な問題解決の助言にご利用ください。
(費用は本学が負担します)

ワークショップ
年6回開催
場所(附属小学校)
(無料・先着順)

Newsletter
年4回発行しています

シンポジウム
平成28年10月15日(土)
徳島市シビックセンターホール
(徳島駅前 アミコビル内)
小学校英語に関心のある方は
是非ご参加ください。

最新情報
教材集(石濱)・DVD(畑江)を
ご希望の方に送付しています。

紀要
平成28年3月
第6号発行しました。

A 出張型研修(新潟県馬場小学校)

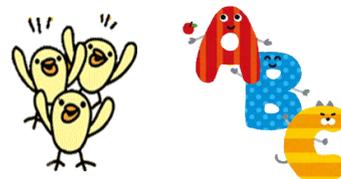
新潟県十日町市立馬場小学校で、平成28年2月15日、5年生の8人に授業を展開致しました。『Hi, friends! 1』の“Lesson 9”を応用した「お寿司屋さんごっこ」を扱いました。“Lesson 9”は、原則4時間の単元構成になっておりますが、その最初の時間を扱いました。指導過程では、言語材料(“What would you like?” — “Tuna, please.”)を気づかせたり、ゲームの活動で言語材料の強化を図ったり、話題に関連する歌を歌ったり致しました。最終的に、単元目標を定着できるように仕組みました。授業実践の後、教員研修を実施しました。当授業実践の枠組みや、馬場小学校から依頼がありました「英語人形劇」についての講義を致しました。10人の教員の他に、2人の十日町教育センターの人たちも参加されました。「教員研修で得たさまざまな知見を、今後の教育実践に繋げたい」といわれました。

なお、筆者は、平成19年度から十日町市立馬場小学校の外国語活動(英語活動)と関わっております。そして、毎年1回以上研修を継続して現在に至っています。(石濱)

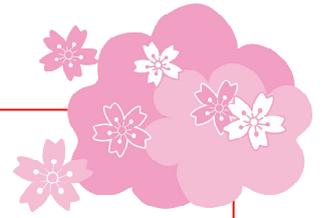


B 小学校教員のための英語ワークショップ

In the last workshop for the academic year of 2015, we looked at how English syllables determine the intonation and rhythm of English. We examined and practiced individual English words for their intonation, then we looked at how syllables control the intonation of longer texts such as poems. (マーシェソ)



附属小学校 研究発表会



2月6日(土)、鳴門教育大学附属小学校において、第62回研究発表会が行われました。本年度は「『協創の教育』子どもにとって価値ある学びを問う」を研究主題とし、一人一人の子どもが仲間とのかかわりにおいて、個性や能力を発揮し、「新しい価値」を創り出すことができる学びについて研究を進めてきました。大学の小学校英語教育センターとの「先駆的かつ持続可能な小学校英語教育プログラム」の共同研究も絡めながら、段階的に読むことや書くことも活動内に自然にちりばめながら行い、将来の英語活動のイメージを持っていただけたと思います。

公開授業(授業者:青山祥子, ALT:ジェラード・マーシェソ)では、第4学年「My Story Book—10歳の自分, 10年後の自分—」と題して、1/2成人式を迎える子どもたちに、10歳の記念に自分の好きなものや得意なこと、将来の夢をつづった「My Story Book」を作ろうというところから単元を立ち上げました。自分のことを友だちに伝え、友だちからメッセージカードをもらい、自分のページに貼っていくと世界に一つだけの「My Story Book」ができあがっていきます。

公開授業には60名を超える参加者にお越しいただき、低年齢化・教科化が始まる小学校英語への関心の高まりがうかがえました。はじめにALTの先生の丁寧な発音練習で音声に慣れ親しんだ後、子ども一人一人がiPadの中に入れたピクチャー・ディクショナリーからなりた職業の単語を選び、自分のページに書いていました。

授業の後半では、なりた職業を友だちに伝えて、それを聞いた友だちからGood luckやWow!などの気持ちが書かれたカードをもらいました。友だちとかわる場面では、smileやeye contactなどの観点に気をつけることができるように、子ども一人一人が評価ボードを持っています。活動の途中と最後に自分の選んだポイントを振り返ることができ、教師は児童一人一人の課題を簡単に把握することができるように工夫されていました。

公開授業の後には分科会が開かれ、研究授業に関する質疑応答や今後の教科化を見据えた話など活発な意見交換をすることができました。助言者としてお越しいただいた神戸海星女子学院大学の福智佳代子先生のワークショップでは、子どもの興味を引く手作り教材の工夫や絵本を使った活動のポイントなどの話がありました。参加者のアンケートには、「正確な理論を背景に、子どもの力をのばす授業展開が組まれていることを知ることができた」「これからの英語活動の在り方、評価について勉強になった」など多くの意見をいただくことができました。来年度の研究がよりよいものになるように生かしていきたいと思えます。

(鳴門教育大学 附属小学校 英語科主任教諭 青山祥子,
小学校英語教育センター 研究補佐員 段本みのり)



【発行】鳴門教育大学小学校英語教育センター

〒772-8502 徳島県鳴門市高島字中島748番地

E-mail:celees@naruto-u.ac.jp